

日本歯周病学会 第 101 回 歯科衛生士教育講演会 報告

1. 研修会名：日本歯周病学会第 101 回歯科衛生士教育講演会（日本歯科衛生士会第 5 次生涯研修）
2. 主 催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会（歯科衛生士関連委員会）
3. 協 力：一般社団法人 日本歯科衛生士会
4. 日 時：2023 年 11 月 26 日（日）10:00～15:10
5. 場 所：ふれあい健康館第 1 会議室
〒770-8053 徳島県徳島市沖浜東 2-16
088-（657）-0190
6. 演 題： 1) 咬合や力に関する知識とアプローチ ～力のコントロールについての基本知識～
2) 歯周基本治療に活かすスケーリングプロセスとテクニック
7. 講 師： 1) 荒川 真一（日本歯周病学会 歯科衛生士関連委員会 委員長）
2) 荒木 美穂（日本歯周病学会 歯科衛生士関連委員会 委員）
8. 研修単位：①、②両方に該当する場合は、それぞれの単位取得が可能
①日本歯周病学会会員の場合
・認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位（8 単位）
・更新時の生涯研修単位（10 単位）
②日本歯科衛生士会会員、会員外の場合
・第 5 次生涯研修制度に基づく専門研修単位（歯周治療の基本技術）
Ⅲ．口腔衛生指導と生活習慣指導
E 咬合や力に関する知識とアプローチ（悪習癖の改善等）2 単位
Ⅴ．歯周治療の補助に必要な知識と技術
A. 歯周基本治療について
・目的、治療の実際、咬合治療、抗菌療法など 2 単位

9. 内 容

今回の受講人数は 34 名（うち歯周病学会員は 7 名）、徳島県の日本歯周病学会の認定歯科衛生士数は当日現在 8 名である。

はじめに、徳島県歯科衛生士会の河野会長より挨拶があり、続いて荒川委員長より「咬合や力に関する知識とアプローチ ～力のコントロールについての基本知識～」の講演が行われた。歯周病の病態の 1 つである咬合性外傷、外傷性咬合について基本的な知識の理解、歯周病と咬合力のかかわりについての

考え方などについてと各種の歯周組織検査についての内容であった。午後からは荒木委員より「歯周基本治療に活かすスケーリングプロセスとテクニック」の講演が行われた。歯周病の病因論について、各種スケーラーの取り扱いについて、歯石除去に効果的なスケーリング操作と基本事項についての内容であった。また、最後に日本歯周病学会と認定歯科衛生士について説明を行ない、認定歯科衛生士に対するアンケート調査の2007年度と2019年度の比較を報告した。

10. 感想

徳島県歯科衛生士会の都合により、会場の収容規模が予定の半分の50名までに変更になり、当日の参加者は34名と、こじんまりした規模で行われた講演会であった。受講生は皆、大変熱心に講義を聴講し、また質問も多数あり活発な発言により日常の臨床にも真摯に向き合う姿を想像できた。また、徳島県歯科衛生士会幹部会員の方々の受け入れ態勢がきちんとされており、スムーズに講演を進めることができた。

